

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	パラドックス・ブイ	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.480	△RG	0.057	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：パラドックス・ブイ

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

番

研磨剤

比較対照ボール：パラドックス・ブラック

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

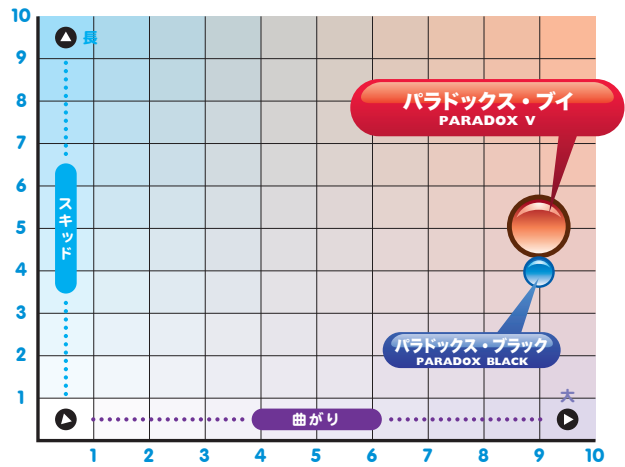
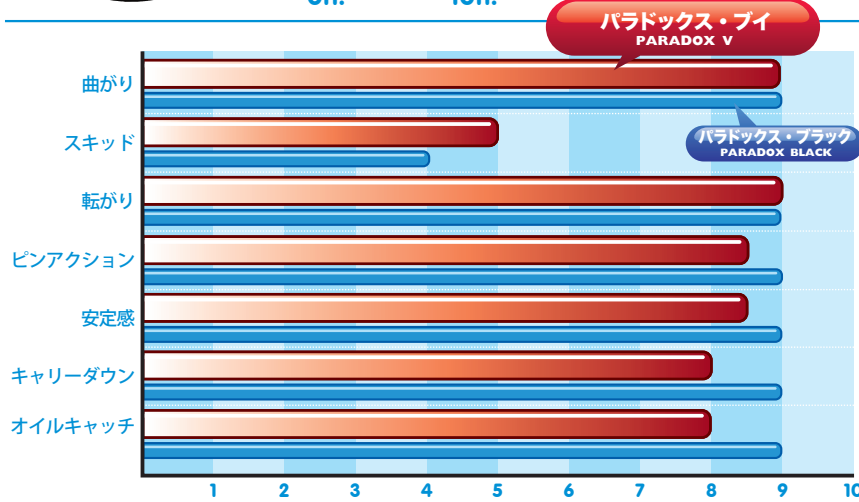
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

番

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

TRACK社 Pearl 素材最高領域のPRIME PEARLと最大のネジれを作り出すI-Coreとの融合。以前からPARADOXでバックエンドの大きなネジれに定評があったI-Coreが、今回スキッドレベルも高いがドライゾーンでの急激な反応を魅せる Pearl 素材とのマッチングでPARADOX 史上最高のバックエンドモーションを表すボールとして舞い戻ってきました。PRIME PEARLはALIASのPRIME HYBRIDの進化版の Pearl で、8月に発売されたPRECISIONと同じ素材を採用しています。PRECISIONとはコアは違いますが、バックエンドで急激に反応するグリップはこのPARADOX Vと傾向は同じで、同じ Pearl 素材でも配色を変更することでPRECISIONよりもややキャッチを強くしているように感じられるように仕上げてあります。TRACK社は今回このPARADOX Vを制作するにあたり、かなりバックエンドの動きに焦点をあてた作りにもって作ってきているのがテストングでわかります。多分その為配色も幾度となく変えて「どの配色ならば思う曲がりか」十二分に吟味された性能はキッチリと性能に表れています。

PARADOX Blackと比較投球すると同じPARADOXでも全く表情が異なり、手前からグイグイとキャッチをして曲がろうとする BlackとPARADOX 史上最もバックエンドが鋭いであろうPARADOX Vとのさが明確に分ります。このボールはテストングの段階でTRACK Team女子キャプテン久保田彩花プロにも届いており、パフォーマンスを確認したところ歴代ExtremeやRedよりも断然キレルイメージでピンキャリアも劇的だと報告をうけています。本当にここ最近のTRACKとCOLUMBIAのPEARL・HYBRID素材は目覚ましい進化を遂げています。それはこのPARADOX VやPRECISIONを投球して頂ければ実感して頂けるでしょう。ぜひこの機会にTRACK社のボールをお試しください。

特記事項

Pearlなのにオイルに強く、特にバックエンドの動きが魅力のPARADOX V。PARADOX 過去最大級の俊敏な動きは、私達に新たなラインを作り出します。